

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタ]

2016 09

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都・滋賀、仙台、福岡にて55万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2016 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



美学を大切に。
カルティエ。

ドライブドゥ カルティエ
WSNM0004
40mm×41mm、自動巻き、ステンレススティール
¥691,200(税込)

My Favorite Life Style



カリブルドゥ カルティエ ダイバー ブルー
【左】W5CA0010
42mm, ステンレススティール
¥877,500(税込)
【右】W2CA0008
42mm, ステンレススティールx18Kピンクゴールド
¥1,134,000(税込)

Cartier 2016

演出したい「自分の理想の姿」を、
妥協することなく選び抜ける。
「美」の形は無限であることを思い知らされる、
カルティエの新作コレクション。



サントス 100 カーボン ラージモデル
WSSA0006
LM, ステンレススティール&ADLC
¥842,400(税込)



バロン ブルー ドゥ カルティエ カーボン
WSBB0015
42mm, ステンレススティール&ADLC
¥731,700(税込)

カリブルドゥ カルティエ
ダイバー ブルー
女性向けモデルも多数展開する
カルティエが初めてメンズの
ためのコレクションとして発表し
出したのが「カリブルドゥ カル
ティエ」だ。カルティエは、ムーブ
メントのモデル番号を表す際に
用いられる「キャリバー」を指す
フランス語の男性専用レクシ
ョンであると同時に、マヨアン
クチュールとしての技術を改めて
世に示したネーミングと解釈
できる。

分野そのものに際然と輝く金宇
塔だ。1904年、飛行中に時刻
を確認したいと考えたラジールの
名飛行士アルベルトサントスに
対して、カルティエは、ルイ・カルティ
エが特別に製作した「サントス
ラフ」の角型腕時計、名作の誉れ
高いこの作品が、カルティエのメ
ンズの源流となったのだ。
「衝撃を受けてもストップが
外れない」という腕時計の概念を
打ち立てたサントスは、今も進化
を続けている。「サントス100
カーボン」は、初代の誕生から実
に105年を隔てた2009年
に発売されたコレクションだ。今
回は発表された新作では、前作で評
判を集めた「ゼルのADLC」ア
ルファスタイルや「サントスラフ」
カーボン加工がケース全体に施
され、さらに質感を揃している。
ステンレススティールとカー
ボンで丁寧に仕上げられた「フ
レイズ」ヘアライン加工と漆黒の文
字盤、白い文字に赤い秒針、男性
的な重厚感がこれまで強調され
ていたのに、本来の気品を保つバ
ランス感覚は、まさに圧巻。カル
ティエのデザイン力を味わうな
ら、こうした細部にも十分に目
を配りたい。

0年代初頭は、時計の本体が格
納されているケースに「ラジール
ラフ」を取り付けた蓋を直接接
触するという手法が一般的だ。
その常識を覆し、ラフを省くこ
とでケースとの一体化へと導いた
のも「カルティエ」の仕事だ。
2007年に発表された「バロ
ンブルー」は、カルティエは同
社自身が切り拓いた「ゲージサ
イン」の一体化に対するこだわり
が視覚化されたような名作コレ
クションだ。ラフやベゼルを極端
に縮めるとして、丸ごと際立っ
た独特のデザインは、メンズの顔
のひとつへと成長している。
同コレクションは非常に豊富な
バリエーションが展開されており
、新作が出るたびに同じ円形
なのに、これだけの違いを生み出
せるのかと感嘆させられる。今
年は、ADLC加工が施された
カーボンモデルが登場。端正なバ
リエーションが多かったこれまで
は打て変わってスポーティなモデ
ルとなつていたので、アクティフ
なセルフイメージを演出したい
男性には特におすすだ。

* * *

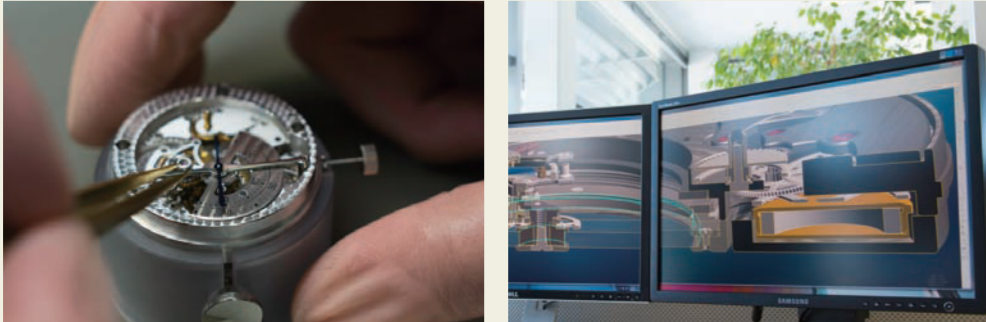
毎年、名品と呼ばれるモデルを
多数輩出し続けるカルティエ。次
のページでは、わずか1年で世
界の定番と化した名作を、紹
介しよう。

Biz Life Style Pick up >>>

近年、さらに美が極まるカルティエ。
その秘密は、一新された設計・製造環境にある。

ムーブメントの自社製作に加え
設計部門と製造部門を一体化
設計部門と製造部門を一体化
左上の写真は、2001年に完成
したスイスのラジール・ド・フォンに
ある時計工房の外観だ。6万㎡にも
及ぶという広大な敷地に、部品建
内では、ゲージや針、機軸の製
造だけでなく、設計や技術の継承か
らアンティーク品の修復作業まで、
同社のウォッチに関するあらゆる作
業が集積された格好となっている。
昨年の9月には、工業技術とシニエ
リーウォッチ製造技術を一体化させ
た「メカニクス・センター」を併
設。同社の研究開発拠点という色合
いがさらに強まった。
ポイント：機軸と外装の各製造
部門に加えて、設計部門も同じ場所
に置かれている点だ。設計部門と製
造部門の距離がゼロになつたこと
で「コミュニケーションが円滑化し」互

いがやりやすいことを共有できる。
こうした環境が、くくりが奏功し、近
年のモデルではさらに「デザイン性」を
極めていくが、今では「パーツ」にまで
美を追い求めているというのだ。
「向ともカルティエらしい話だ。
「同社は先づ、腕時計型が多機能
情報端末に変わるスマートウォッ
チの市場には参入しない方針を明
らかにした。その理由はこの「工房
を見ればよく理解できるはずだ。
ハイテクウェアが、いかに進化し
たとしても、美と技術を同時に極めた
自社製品に比肩するものはない。
：数地の全体に、そんな自信が漂っ
ている。」



【左】コンプリケーションムーブメントの組立工程。カルティエはジュネーブにも工房を有している。【右】上の写真の建物の2階
が設計部門のオフィス。階下の製造部門とは常にコミュニケーションが取れる環境。 Photo by Masahiko Takeda

DRIVE DE CARTIER

ドライブ ドゥ カルティエ



WGNM0003
40mmx41mm, 自動巻き, 18Kピンクゴールド
2,138,400円(税込)

圧倒的な美の世界、カルティエのメンズコレクション。

日々を愉しみ、自立を愛し、自身の人生を気ままにドライブできる。美学を抱く男性たちに贈る、「男のカルティエ」。

鋭い知性と確かな審美眼、そ
して豊かで自由な人生。人とし
てのあり方をワンストップで表
現する高級機械式腕時計だが、
今日のよう、「大人の趣味」の
代名詞として語られるように
なつたのは、ウォッチデザイン
という概念が誕生してから後の
ことだ。
その意味で、1847年、フラン
スはパリで創業したこのメソ
ンの功績は、極めて大きい。こ
存じ「カルティエ」は、実に15を数
えたという各国王室の御用達
店であったことから「王の宝
商」と讃えられたジュエリー界
を代表する名門だが、同時に、
機構の精緻さを競っていた時計
の世界に「表」の一部としての
美」という観念を持ち込んだ立
役者でもある。
いま、私たちが店頭で手に取
る腕時計のブランドは、「ウォッ
チメーカー」と「ジュエリー」に
大別できる。前者は時計の中身
である機構部分、いわゆるムー
ブメントの製造技術に有する
ブランド、後者はそれを包む外
装部分、つまりケース・ブクロ
得意とするブランドだ。いま市
場に流通するウォッチの大半
は、この両者が専門外の部分を
互いに委ね合いながら製品化し
たものだ。考えれば、分りやすい
だろう。
当然、カルティエは後者ジュ
エリーの代表格といえる。これ
になるのが、貴金属の分野でも
するメソンの外装づくりで満
足するはずがない。かくして、
現在のカルティエは、デザイン
と機構の製造を自社内で完結
する、世界でも数少ない「モノ
ファクトリー」へと成長を遂げ
たのだ。

テイと聞くと女性的なイメージ
を連想するかもしれない。も
ちろん女性向けのモデルも多数
揃えているが、同社のウォッチ
メソンの歴史は、実は男性
用腕時計から始つたのだ。今
年1月の国際高級時計展「S.
I. H.H.」の会場に衝撃を与えた最
新コレクション「ドライブドゥ
カルティエ」は、100年以上に
わたるメソンのウォッチ製造技術
の集大成と見てよいだろう。
古典的なウォッチ・シエンプを
現代的な解釈で再構築したケー
スに、よく見るとヘキサゴンハ
角形を描く優雅なベゼル。カル
ティエのDNAが宿るローマン
インテグリス、剣型針、そしてク
ラフ・メソンのデザインが感じられる
ギョーシェ彫りのダイヤル。見た瞬間
は、レトロなスケッチ的なデザ
インに感じることが、じつと驚か
せている。モダンな気品と艶気
楼のように昇り立つ、いつも自
然体のように見えて、その奥に
は洗練された知性スタイルを
内包する...そんな男性像が提
示されているかのよう。思わ
ず身が引き締まるようだ。
内部機構は完全自社製で、3
針モデルには2010年にリ
リースされた同社初の基幹キャ
リバー「1904-MC」を搭載。
同社初のリストウォッチが誕生
した年を指す。これだけでも、カ
ルティエがいかに男性用腕時計
を大切に考えているかが伝わっ
てくるだろう。
男の抽気は、いつあるべきかを
雄弁に指し示す、最新のカル
ティエウォッチ。次のページは、
各コレクションの最新作を駆け
足でチェックしてみよう。

ドライブ ドゥ カルティエ ウォッチ



WSNM0006 40mmx41mm, 自動巻き, ステンレススティール 691,200円(税込)
WSNM0004 40mmx41mm, 自動巻き, ステンレススティール 691,200円(税込)
WGNM0004 40mmx41mm, 自動巻き, 18Kピンクゴールド 2,138,400円(税込)



John Balsom © Cartier

My Favorite Life Style

クレドゥ カルティエ ウォッチ



© Cartier
WSCLO007
40mm、自動巻き、ステンレススティール
599,400円(税込)

さて、いざ身に付けてみると、
今度は思わずのぞき込んでしま

した。記憶にも新しい。
クレドゥ カルティエは、サン
トス、タンク、パロンブルードゥ
カルティエに続く4つ目の男女
共用の定番コレクションとして
誕生した。やわらかなカーブ、美
しいライン、穏やかな丸みを帯
びた側面。その完成された美に
は惚れ惚れするが、手に取ってみ
ると、かつて欧州の名だたる時
計師たちを愕然とさせた「ケー
スとラグの融合」がデザイン上
の基礎となっていて、それが分
かる。つまり、どれだけ現代的な美
をまとおうとも、カルティエの本
質は変わっていないということ
になる。

クレドゥ カルティエ

伝統を守護しつつ、革新を切り
拓く。受け継ぐべきものを受け
継ぎつつ、新たな創造に躊躇しな
い。カルティエが昨年発表した
「クレドゥ カルティエ」は、同メ
ゾンが目指す方向を明確に指し
示したタイムピースだ。発売前
から各メディアを賑わせ、店頭に
並んだと同時に「世界の定番化
した」と記憶にも新しい。

鮮烈なデビューの眩さ、いまだ衰えず

う。ケースが、何とベゼル(風貌の
周囲にあるリング)まで一体化さ
れており、ストラップ以外のすべ
てが統合されているのだ。モデル
によつてはさりげなくダイヤモンド
が輝くなど、思わず魅入られ
る美の世界が表現されている。

「コレクション名にある「クレ
ド」とは、フランス語で「鍵」を意味す
る。これは、極めて特徴的な角型
のリュース(ゼンマイ)を巻くつま
みを指している。デスククロック
で見える突起物が腕時計に採用
されたことだけでも斬新だが、こ
れが実に優雅で、現代的に感じ
られるのだから不思議なもの
だ。また、このリュースの採用に
よつて、まるでデスククロックの
鍵を巻き上げるような新しい
ジェスチャーが生まれた。小さく
ても、カルティエの革新性の象徴
とも言えるパーツなのだ。

シンプルながらフォルム、すっきり
としたラインで美をまとめるの
はカルティエの真骨頂だが、それ
がリュースにまで及ぶほどの完
成度は、前ページで紹介した「設
計と製造の一体化」の賜物だろ
う。なお、心臓部には「1847
MC」と名付けられた最新ムー
ブメントが搭載されている。この

1847という数字は、中ページ
の冒頭で紹介した通り、カルティ
エの創業年を意味する。約16
0年以上にわたる時を経て、い
まや真のウォッチメーカーへと昇
華したカルティエが、このコレク
ションをどう位置づけているの
かがお分かりのはずだ。

思わずため息が出るような仕
上げの精度、時代の流れの中で
磨き上げられたデザインパラン
ス。時計だけで完結するのでは
なく、ほかのファッションアイテ
ムとの調和にまで目が配られ
た、完成された美。掲載した3モ
デルはその一部でしかないので、
ぜひ店頭で手に取り、文字盤、ベ
ゼル、リュースそしてケースの
裏までじっくりと堪能いただ
きたい。



© Cartier
WJCL0038
31mm、18Kピンクゴールド、
ダイヤモンド
2,872,800円(税込)



© Cartier
WJCL0034
31mm、18Kピンクゴールド、
ダイヤモンド
2,656,800円(税込)

Clé de Cartier

クレドゥ カルティエ

「真のウォッチメーカー」と
呼ぶに相応しい唯一のメゾン

ジュエラーとしてスタートした
カルティエは、100年もの時の
流れの中で、トレンドを牽引する
傑作を多数生み出してきた。そ
れは、単に「時刻を示す機械」で
はなく、自らの美と知性を磨き
上げたいと願う人々をウォッチ
の世界に誘い、業界全体を新た
な境地へと導いてきた歴史でも
ある。

高級機械式時計を選ぶ際、そ
のデザイン性を軽んじる人は、も
はやほぼ皆無だろう。中面で紹
介したサントスの完成以降、私
たちは美を愛でる対象として時
計を眺めてきた。世界のウォッチ
市場は、貴金属同様に「精巧さと
美しさ」を前提に発展してきた
のだ。

ムーブメントとケースの両方
を自作するミニファクトリー
はいくつかある。しかし、それに
加えて150年以上にわたって各
国の王族をも魅了し続ける「美
の専門家」としての揺るぎない実
績を備えたウォッチメーカーは、
世界広しと言えどもカルティエ
以外には見当たらない。だとす
れば、「真のウォッチメーカー」と
いう称号が相応しいのは唯一カル
ティエのみで、断じて差支
えなく「唯一」なのだ。

カルティエのウォッチは、もち
ろん日本でも幅広く愛されてい
る。実際のモデルは以下の店舗で
手に取ることができるので、ぜひ
お出かけいただきたい。
生涯にわたって衰えることの
ない美。知的な愉しみとして腕
時計の世界に踏み出す際の「最
初の一本」として、これほど似つ
かわしいメゾンもないだろう。

Biz Life Style Pick up >>>

東急百貨店本店の5階 時計売場 カルティエウォッチコーナーがリニューアルオープン



hug everyone.

東急本店 TOKYU

■取扱ブランド パテックフィリップ、フランクミュラー、ロレックス、ピアジェ、
ブランパン、ジャガールクルト、シャネル、ショパール、クレドール、グランドセイコー
TEL.03-3477-3572(直)

渋谷駅より徒歩10分。落ち着いた高級住宅街の一角に位置する「東急百貨店本店」内のカルティエコーナーが、先ごろリニューアルオープンを果たした。最新のブランドコンセプトを導入した売場内は上質感たっぷりで、じっくりと商品を見比べることができる落ち着いたインテリアが心地よい。また、新作の「イフノース・ドライブドゥカルティエ」をはじめ、コレクションも充実している。カルティエが誇る深遠なる美の世界を心ゆくまで堪能することができる。

hug everyone.

東急本店

TOKYU

〒150-8019 東京都渋谷区道玄坂2-24-1 TEL.03-3477-3111(本店・東横店代表) http://www.tokyu-dept.co.jp/

営業時間:10時~19時 ※地下1階・1階は20時・7階(MARUZEN & ジュンク堂書店)は21時まで、8階レストランは11時から22時30分まで営業いたします。

カルティエ カスタマー サービスセンター
フリーダイヤル 0120-301-757
受付時間/10:00~20:00 無休(年末年始を除く)

www.cartier.jp